

令和7年度 小松市立松陽中学校 学校経営計画

- 1 学校教育目標 「未来をたくましく生き抜く人間力の育成」
～自主・自立、親身を合言葉に～

2 目指す生徒像 校訓「自主・自立・奉仕」

- ・自ら学び、考え、判断できる生徒
- ・夢の実現に向かって努力できる生徒
- ・自他を大切にし、互いに尊重し合える（感謝と思いやりの心をもつ）生徒

目指す教師像

- ・自ら進んで学び、成長し続ける教師
- ・生徒の思いに寄り添い、成長を支える教師
- ・教育への情熱と誇りをもち、生き方の範となる教師
- ・チームの一員としての自覚をもち、組織を大切にする教師

教員としての教育力の向上（「教員信条」に立ち返る）

「教職の尊厳に畏れよ」「教化の源泉は自己にあり」「廣く愛と敬とに生きん」

3 教育目標実現のための方策 「進取の心(自ら進んで物事に取り組む心)」の育成

(1) 豊かな人間性の育成 「互いに認め合う集団づくり(温かい人間関係の構築)」

ア 学校や自分への誇り・自信、自己肯定感を高める活動の推進

- ・人間関係力・コミュニケーション力などの向上
- ・達成感を味わえる教育活動の推進
- ・丁寧で心のこもった挨拶の推進
- ・ボランティア活動の推進
- ・サミット委員会の取組

イ 生徒会やリーダー会など、自治活動の活性化：定例的な生徒議会・リーダー会の開催

- ・「自分たちの学校は自分たちの手で」という意識をもたせる取組を推進する。
- ・リーダーが学校、学年、学級の課題を明らかにし、改善策を協議・実践する場の設定

生徒が「これは…」と誇れる我が校のいいところ（魅力）見つけ・発信

→ 松陽中学校の伝統として受け継がれていくもの

【生徒指導・生徒会】

(2) 発達支持的生徒指導の推進

ア 日々の授業や各種取組における発達支持的生徒指導の推進

【生徒指導・生徒会・研究】

- ・生徒指導の4つの視点（自己存在感・共感的人間関係・自己決定・安全安心）を意識した取組の推進
- ・生徒が考える場・活躍できる場の工夫と設定

イ 組織的な不登校対策の推進：組織的な教育相談体制の充実、ステップルームの積極的な運営等

ウ 特別支援教育の充実 【教務・特別支援教育C】

【生徒指導・教育相談】

【組織的な不登校対策】 情報連携＋行動連携の推進

ケース会議の開催による対応（行動）の具体化

一人一人の生徒を大切に考え、特別な支援が必要な生徒への対応を、学校全体で検討していく。

(3) 確かな学力の育成 「主体的・対話的な深い学びの実現」

- ・【小松市指定】GIGAスクール環境を生かした学びの推進事業（R5・R6：研究発表）
- ・【小松市】英語教育のさらなる充実に向けて取り組む（English Table の日常利用、英検挑戦等）

ア 主体的・対話的な深い学びを実現し、思考力・判断力・表現力の向上【教務・研究・総合担当】

- ・生徒の思考力や判断力、表現力などの育成を目的とし、探究的な学習を組み込んだ総合的な学習の時間の年間指導計画等の改善（地域学習、SDGs教育、キャリア教育等の推進）
- ・3年間を見通しての系統的な探究活動の設定（総合的な学習等）
- ・ICTの効果的な活用による探究活動の推進

イ 教員の指導力向上【研究・教務・GIGA担当・若プロリーダー】

- ・わかる授業、生徒主体の授業（授業者のファシリテート力の向上）の推進
- ・授業におけるICT活用（GIGAスクール構想）などの推進
- ・授業スタイルの構築と共通実践
- ・校内研修・若プロ研修の充実

ウ 組織的な学力向上の取組の推進【教務・学力向上担当】

- ・基礎的基本的な内容の確実な定着に向けた取組の充実
- ・授業と家庭学習の連携を大切にしたい取組の推進
- ・計画的な朝学習・終礼前学習の取組の推進

エ 夢や希望をえがき、将来に向かってたくましく進むキャリア教育の推進【教務・進路担当】

- ・学級活動や総合的な学習の時間における系統性のある指導の充実

(4) たくましく生きるための健やかな体の育成【保健部・生徒指導】

- ア 学校生活を健やかに送るための健康教育（治療率アップ、健全な生活リズムの習慣化）
- イ 情報モラル教育・性教育の推進 ウ 学校保健委員会研究発表会の実施

(5) 保護者・地域・小学校との連携強化

- ア 保護者や地域の方々への丁寧な対応【教頭】
- イ 学校の取組の積極的な発信（学校HP、コドモン等）【教務】
- ウ 小中9年間の視点をもった児童生徒の育成【教頭・教務】